

研究協力をお願い

この度、当院において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科大学附属病院

歯科口腔外科

記

研究課題名：顎関節症と咬合・咀嚼機能の関連性に関する研究

研究の意義：特定の咬合状態（歯欠損の範囲や状態）、咀嚼機能と顎関節症との関連性を解明することで、顎関節症治療の効果を上げ、治療期間の短縮につなげます。

研究の目的：顎関節症と咬合・咀嚼機能との関連性を明らかにすることです。

研究の対象：当院での診察にて顎関節症と診断された患者さん

研究の方法：口腔内外所見および全身状態の診査データ（通常診療行為から得られる情報のみカルテから取得する。）

ご自身の既存情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申し出先までご連絡ください（代諾者からの申し出も受付いたします）。申出された場合は、当該研究への利用はいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。

対象者の方（代諾者）の申し出により、他の対象者の方の個人情報保護や当該臨床研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、当該臨床研究計画及び当該臨床研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できます。

本研究にて取得しました情報は、当該研究に関わる者と個人情報の管理者（小越 菜保子）が利用いたします。

研究期間：2017年10月01日～2025年10月31日

個人情報の内容およびその利用目的、開示等の求めに応じる手続き：被験者の個人情報の取り扱いについては、十分に注意を行い、論文投稿や学会発表等では、個人情報が特定されないようにする。また、当該被験者より個人情報の開示の求めがあった場合は、すみやかに開示を行う。

個人情報の取り扱いに関する相談窓口：歯科口腔外科外来 担当 小越 菜保子

利益相反について：

本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保、または確保していることを社会に適切に説明する必要があります。本研究は、本学の規程に基づき、研究者が大阪医科大学利益相反委員会に必要事項を申請し利益相反についての審査を受けた上で、実施されております。

本研究の資金源は歯科口腔外科学教室の講座研究費であり、利益相反の状態ではありません。

研究者名：

研究責任者：歯科口腔外科 助教 小越 菜保子

分担研究者：

歯科口腔外科 非常勤医師 藤田 寛

歯科口腔外科 助教 井上 和也

問い合わせ、参加拒否の申し出先：〒569-8686 大阪府高槻市大学町 2 番 7 号

大阪医科大学附属病院

歯科口腔外科

担当：小越 菜保子

TEL 072-683-1221(代表) 内線 2358